

# しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



七宗中 HP  
団結祭の様子を  
ご覧ください。

## 志をもち仲間と創った「団結祭」

校長 福井敏彦

10月10日、七宗中第1回「団結祭」を開催しました。ご多用のところ、多くの保護者・地域の皆様にご参加いただき盛り上げていただきました。感謝申し上げます。七宗中教育活動の柱となった行事に手ごたえを強く感じています。

### 自身の志を立てて粘り強く取り組む（自律）

9月の結団式で「粘り強く取り組むことと、がまんして取り組むことは似ているようで違う。」という話をしました。粘り強く取り組める人は、自身の志・願いが強く、失敗も自分事としてとらえ工夫改善できます。一方、がまんして取り組む人は、自身の志・願いが弱く、失敗を他人のせいにしてしまいます。自身の志を立てて、粘り強く取り組んでほしい、とエールを送りました。まさに一人一人が粘り強く取り組めた団結祭であったと思います。

ことを成そうと思えば失敗はつきものです。競技でうまくいかなかったことを他人のせいにするのではなく、どんな状況であっても自身最大限のパフォーマンスを発揮する姿が随所に光りました。

### お互いの頑張りを認め合う拍手（協働）

「よし、いいよ!」「ナイス!」 仲間の頑張りに自然と起きる拍手は、団の雰囲気を高め、さらに高いパフォーマンスを引き出していました。どの団も勢いのある拍手が起きるのを随所で見ました。

運動が得意な人もいればそうでない人もいます。自分なりの精一杯をお互いに認め合っているからこそ、温かさを感じる拍手が自然に出ていたのだと思います。

### 気持ちをそろえ仲間と挑む（挑戦）

生徒会執行部が考えた6つの種目は、どれも見どころいっぱいでした。

4～5人で棒をもってコーンを回る「台風の目」。いかに小回りで回るか知恵を出して挑みました。「玉入れ」は地域の方と一緒にできる種目をつくりたいという願いのもと実施。多くの方にご参加いただき感謝です。「障害物リレー」なかなか1回で決めきれないボール当てに挑みました。4人で板の上のボールを運ぶ「バランスリレー」。見た目以上に難しい種目、4人の気持ちをそろえることに挑みました。3団6チームでバトンをつなぐ「全校リレー」の迫力は圧巻。何度も練習したバトン渡し、一人一人がコンマ何秒の短縮に挑みました。最後の「大縄跳び」は気力・体力を振り絞って4分間自分たちの記録に挑み続けました。

### これからは全校が一丸となって

解団式で団リーダーの一人がこんな話をしていました。「これまでは各団で日常生活の向上を呼びかけあっていたけれど、これからは全校で呼びかけあって高めたい。」すてきなリーダーが育っていることに感動しています。まもなく後期新組織が始動。後期の活動が本当に楽しみです。